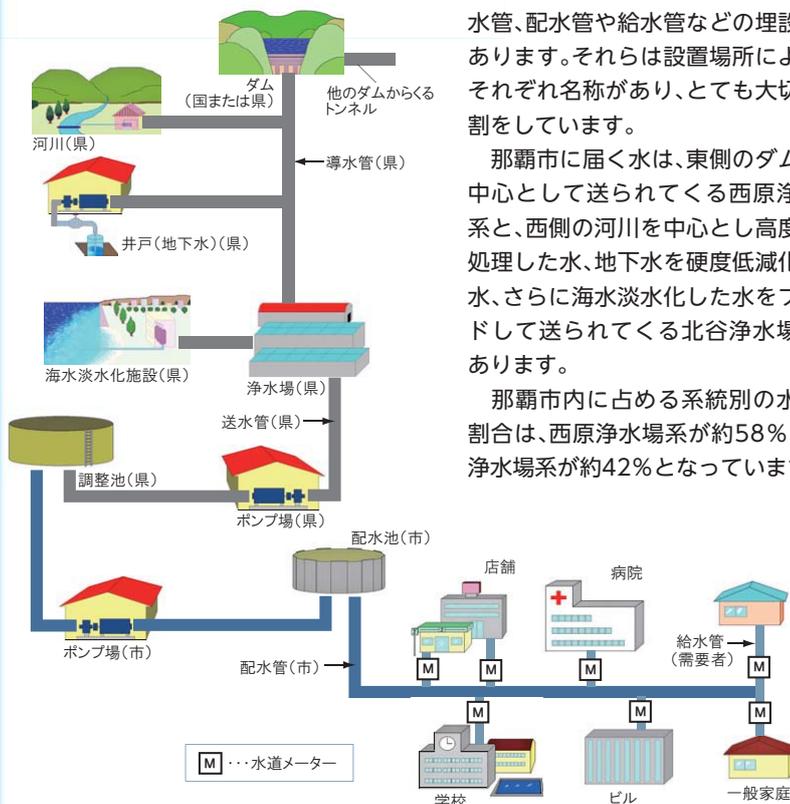


# 水の旅

～ダムから家庭まで～



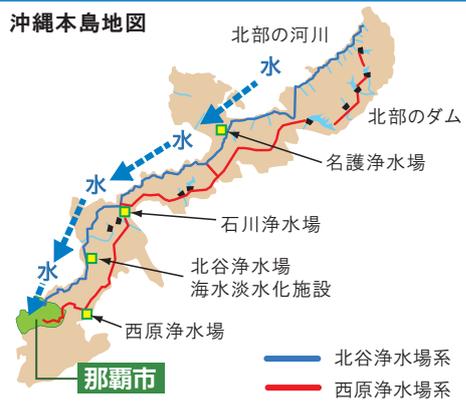
私たちが使っている水は、主に北部のダムや河川から、とても長い旅をして私たちの那覇市へ届きます。

その間には、浄水場やポンプ場、調整池、配水池などの施設があります。

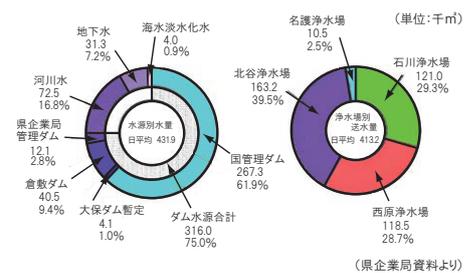
また、地下に埋まって見えないけれど、水道水を運ぶトンネル、導水管、送水管、配水管や給水管などの埋設管があります。それらは設置場所によってそれぞれ名称があり、とても大切な役割をしています。

那覇市に届く水は、東側のダム郡を中心として送られてくる西原浄水場系と、西側の河川を中心とし高度浄水処理した水、地下水を硬度低減化した水、さらに海水淡水化した水をブレンドして送られてくる北谷浄水場系があります。

那覇市内に占める系統別の水量の割合は、西原浄水場系が約58%、北谷浄水場系が約42%となっています。



水源別水量、浄水場別送水内訳表(平成22年度)



## 平成22年度 那覇市の水質検査結果

安全で安心できる水道水を供給します

No.	水質検査項目	基準値等	那覇市水道水の水質検査結果(年平均値)		備考
			西原系小嶺南風公園	北谷系釜川中公園	
1	一般細菌	100個/mL以下	0	0	微生物
2	大腸菌	検出されないこと	不検出	不検出	微生物
3	水銀及びその化合物	0.0005mg/L以下	<0.00005	<0.00005	金属類
4	鉛及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	金属類
5	ヒ素及びその化合物	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	無機物質
6	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	無機物質
7	フッ素及びその化合物	0.8mg/L以下	<0.05	<0.05	無機物質
8	テトラクロロエチレン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	揮発性有機物
9	ベンゼン	0.01mg/L以下	<0.001	<0.001	揮発性有機物
10	総トリハロメタン	0.1mg/L以下	0.042	0.039	消毒副生成物
11	亜鉛及びその化合物	1.0mg/L以下	<0.005	<0.005	金属類
12	鉄及びその化合物	0.3mg/L以下	<0.03	<0.03	金属類
13	銅及びその化合物	1.0mg/L以下	0.002	0.002	金属類
14	ナトリウム及びその化合物	200mg/L以下	15.8	27.5	無機物質
15	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/L以下	34	88	無機物質
16	フェノール類	0.005mg/L以下	<0.0005	<0.0005	有機物質
17	有機物(全有機炭素の量)	3mg/L以下	0.8	0.9	有機物質
18	pH値	5.8以上、8.6以下	7.5	7.5	基礎的性状
19	色度	5度以下	<0.5	<0.5	基礎的性状
20	濁度	2度以下	<0.1	<0.1	基礎的性状
21	残留塩素	0.1mg/L以上 目標値:1mg/L以下	0.6	0.6	衛生的措置

- 紙面の都合により検査項目及び採水場所を一部抜粋して掲載しています。上下水道局ホームページでは、全ての検査項目を公表しています。
- 那覇市には沖縄県企業局の西原浄水場及び北谷浄水場の2系統の水が供給されています。
- 検査結果で示される「<(数値)」は、(数値)未満の意味です。
- 水道水質についての質問等は、配水課(☎941-7806)にお問い合わせ下さい。

## 水質 Q & A



水道水に色がついて出てくる場合があります。その理由は、ついでに色によりさまざまですが、次のような理由が考えられます。

### 赤い水

配・給水管内の鉄サビが原因で、赤褐色の水が出る場合があります。赤い水が一時的に出る場合は、屋内の給水管の腐食が原因と考えられます。2～3分ほど蛇口から水を出してきれいになる場合は腐食は進んでいませんが、常時赤水が出る場合は給水管の老朽化が進んでいて、配管の布設替えが必要になる場合があります。

### 白い水

水道水を透明なコップに入れた後、下のほうから徐々に透明になる場合は、空気の影響によるものです。また、給湯設備の場合は、水道水が急激に加熱され溶けていた空気が放出されて白濁する場合もあります。空気による白い水は、安全性の上で問題はありません。

亜鉛めっきの給水管を使用している場合は、管の腐食が進み、溶けだした亜鉛により白濁した水が出る場合があります。この場合、透明なコップに入れても下のほうから次第に透明になることはありません。亜鉛の溶出が著しいときは、給水管の布設替えを行う必要があります。

### 水が青く見える

浴槽に入れた水が、光の散乱によって青く見える場合があります。太陽光線の可視光線のうち、水が赤や橙、黄色の光を吸収する性質があり、青や緑のみを通過させるため、水の色が青や緑に見える場合があります。特にアイボリーやホワイト系の浴槽でこの現象が見られる傾向にあります。光の散乱現象によるものですので、水質的には問題ありません。

(参考) 日本水道協会「上水試験方法」、全国給水衛生検査協会「水道水のトラブル解決法」、同「水道水質管理 Q&A」